

長崎県議会

改革21

だより



●県議会講場にて(7月4日)

暑中お見舞い
申し上げます



会派長
山田 朋子

梅雨も明け、暑い日々が続いているますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

4月の統一地方選挙において、各選挙区で県民の皆様方の付託をうけ、厳しい選挙戦を勝ち抜いた精銳9名で会派「改革21」が船出致しました。新たなメンバーとして、まきやま大和(大村市選挙区)、白川あゆみ(長崎市選挙区)を迎えるました。9名中4名が女性議員という構成となつており、政治分野における「男女共同参画」も随分と進んできています。

そして、私山田朋子が、浅学菲才の身でありながら会派長という大役を務めることとなりまして、大変身の引き締まる思いでござります。何卒、宜しくお願ひ致します。

会派の基本理念として、「私たち改革21は、議会の改革をめざすすべての人々の共同の力で議会の活性化を図り、日本国憲法の理念を尊重し、公平と公正、自由と民主主義の、基本的人権を大切にする県政を確保、県民の期待に応える決意です」と謳っています。

長い期間、県民の生活に多大な影響を及ぼした「ロナ禍」からの経済の回復そして、若者や女性の流失に代表される歯止めがかからない人口減少問題等課題山積の長崎県ではございますが、私たち改革21は、丸となって果敢に立ち向かい、必ずや、県民生活の一助となるべく、全身全霊を傾け、取り組んで参ります。更なるご支援・ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



幹事長
深堀 浩

日頃より、長崎県議会改革21会派をご支援いただいている皆様に、あらためて御礼申し上げます。私たちは、改選後、2名の新メンバーを加え、9名で船出しました。これまで同様、県民本位の県政を実現するために、新たな発想で活動を展開して参ります。私は、平成27年度より会派の幹事長を仰せつかり、9年目を迎えました。この間、様々な会派間、会派内の調整や政策提言などなどを行ってきましたが、改革21ほどチームワークの良い会派はないと自負しております。メンバーが所属する政党に違いはあります BUT 「それぞれの立場や意見を尊重するとともに、一致する政策は一丸となつて取り組む」そんな風通しの良い会派の歴史を継続していきたいと思います。今、3年間に及ぶコロナ禍が収束に向かい明るい兆しも見えますが、その一方で、エネルギー・食料品等の物価高騰により県民生活に大きな影響がでていますし、本県が抱える慢性的な人口減少問題など課題が山積している状況です。今までに政治の役割が問われている時です。その重責を肝に銘じて、私たち改革21会派は、県民一人ひとりの声を大切にし、建設的な政策提言を実践する議員団として、これから4年間も取り組んで参ります。

6月議会

一般質問



● 山田朋子

「予期せぬ妊娠への対応について」

予期せぬ妊娠で困った時に、周囲に妊娠を告げられずに悩む妊婦が孤立しないように、安心して相談できる体制が必要だと考える。どのような取組を行っているのか。



山田朋子

● 山田朋子

これまでの「妊娠SOS」の相談実績と、広く知っていた
だぐために、今後、どのように取り組んでいくのか。

○ こども政策局長

相談実績は、設置初年度の令和2年度、7月からではあるが、171件、令和3年度が1,042件、昨年度が1,620件と大幅に増加している。

今後とも、妊娠の不安や悩みを抱えた方を孤立させることなく、適切な支援につなげができるよう、広報の充実強化やNPO等を通じたきめ細かな周知活動等に努めていく。

● 山田朋子

「児童養護施設退所後の若者支援について」

児童養護施設を退所してから、仕事を辞めたり、学校を中退したり、生活や将来のことでの不安を抱えている退所後の若者が本県には多くいる。退所後の支援についてどのように考えているのか。

○ こども政策局長

児童養護施設等を退所した若者の中には、退所後も引き続き支援を必要とする方がいることから、県においては、住居費や生活費を一定の期間支援するなど、自立に向けた支援に取り組んでいる。今後とも、退所した若者が安定した社会生活を送ることができるように、退所後においても切れ目のない、寄り添つた支援に努めしていく。

○ こども政策局長

「性と健康の相談センター」及び妊娠や不妊などの悩みに対応する「妊娠ライン」による相談対応に加え、令和2年度には新たに妊娠に特化した相談窓口として、「妊娠SOS」を設置し、対面や電話のほか、ラインでも相談を受け付けており、相談者が相談しやすい環境づくりに努めている。



山口初

改革21の新体制についてお知らせ致します。

会長

山田朋子

会長代行

山口初實

幹事長

深堀浩

幹事長代行

坂本浩

政策調査会長

坂本浩

政策調査事務局長

中村泰輔

広報委員長

堤典子

広報事務局長

牧山大和

財政部長

白川鮎美

会計監査

白川鮎美

◆一般質問

6月…山田・白川 9月…山口・堤・牧山
11月…坂本・饗庭 2月…深堀・中村・牧山

◆常任委員会 ◎委員長 ○副委員長

総務委員会	山口・饗庭
文教厚生委員会	深堀・堤・白川
観光生活建設委員会	坂本・中村
農水経済委員会	山田・○牧山
予算決算委員会	○白川
議会運営委員会	山口・○坂本・白川

離島・半島地域振興特別委員会	中村
観光・IR・新幹線特別委員会	山田
子ども育て・若者支援対策特別委員会	◎堤
監査委員	饗庭
病院企業団議会議員	坂本
有明海自動車航送組合議会議員	深堀

選の実現を、県が先頭に立つて取り組んでいたたく事を要望。

ジェンダー平等の推進について

●白川鮎美

全国的に見て政治、教育、行政、経済などの分野においても男女格差が大きい本県はジェンダー平等に向けてどのように取り組みをしているか。

○知事

女性副知事の登用、県職員や教育職場の女性管理職の登用について前向きに努力する事、また県内企業への波及、家庭内での男女平等の機運醸成を高め、官民一体となつて女性の継続就業とキャリア形成の支援に取り組む。

●白川鮎美

女性が安心して働き続けることができる環境づくりは、人口流出を食い止める鍵であると考え、本県でも人口増、経済発展のために真剣に取り組むよう要望。

離島留学制度について

●白川鮎美

本年3月、離島留学制度を利用して県立壱岐高校に通う高校2年生の男子生徒が行方不明になり、20日後に遺体で発見されるという大変痛ましい事案が発生した。県は、「これから離島留学検討委員会」を設置し検証を行うとしているが、一度立ち止まって見直す必要があるのではないか。

○教育長

留学生が亡くなられましたことをしつかり受け止め、現行制度を総括的に検証し、生徒が安心した生活が送れるよう、学校や里親だけではなく、保護者、地域を巻き込みながら、留学生を見守る体制を整備して、より魅力的で、持続可能な制度となるように改善を図っています。

●白川鮎美

ぜひとも、継続してほしいと思う反面、今までは長崎県の教育行政の信頼を失墜しかねない懸念が残る。子どもを真ん中に、保護者も里親も学校も、安心・安全な仕組みを確立し、全国の子どもたちが希望を抱いて入学し、夢をかなえられる離島留学制度となることを強く要望。

●白川鮎美

市選管において、障がいを持つた方へ正しく投票行動の説明がなされていなかつた事案を例に、県は市町選挙管理委員会とどのように情報共有をするのか。

○選挙管理委員会

「代理投票制度」の周知徹底と、投票環境の向上に努める。

誰もが参加できる選挙への取り組みについて



白川 鮎美



1ヶ月半の入院で迷惑をお掛けいたしました。



中村 泰輔

「ゴールデンウイーク兩天日、足元を滑らせて左足首を複雑骨折しました。4月の改選直後の怪我で、改革21の皆さんのみならず、日頃からお世話になつてゐる皆様にも、ご心配とご迷惑をお掛けいたしました。1ヶ月半の手術・入院を経て、6月議会の途中で議会に復帰することができました。病棟では多くのご高齢者が入院され、その中には認知症を患つておられる方もいらっしゃいました。怪我で入院して認知症が進むケースを目の当たりにしました。退院後も松葉杖とりハビリの生活ですが、今まで見えなかつた視点で暮りしており、この経験は議会人として決して無駄ではなかつたと感じています。1日でも早く元の生活ができるよう、焦らずに怪我に向き合つてまいります。

当選後初の県議会において、一般質問の機会を頂きありがとうございました。これまで県民の皆様からいただきました切実な声の中から、私自身が心震える6つのテーマについて質問をさせていただきました。そのうち3つをご紹介します。

●白川鮎美

市選管において、障がいを持つた方へ正しく投票行動の説明がなされていなかつた事案を例に、県は市町選挙管理委員会とどのように情報共有をするのか。

○選挙管理委員会

「代理投票制度」の周知徹底と、投票環境の向上に努める。

●白川鮎美

誰一人取り残さない社会実現のために、誰もが参加できる選挙

常任委員会報告

委員会 生活建設 観光



坂本 浩

宿泊施設やフードバンク活動等の支援を先議で可決！

補正予算は、原油価格・物価高騰に加えて深刻な人手不足への対策等が先議案件として審議・可決されました。①宿泊事業者の経営改善を図るための省力化・DXに資する設備等の導入支援(2.9億円増)、②生活困窮者や子ども食堂を支援するフードバンク活動団体の機器設備等の導入支援(1千万円増)などです。①は約900の宿泊施設が対象。客室数に応じて150～450万円を上限に3分の2を補助し、10月末を目途に年度内執行をはかる、②は対象となる活動団体は10団体、無償提供する活動であり「概算払い」も検討する、とそれぞれ答弁がありました。

また、長崎市の県営川口アパートの建替えに係る、初のPFIによる事業契約(契約額18億7千万円)と指定管理者の指定(2026～2046年の20年)も審議されました。実質的な民間委託であり、現在の入居者(約85戸)の動向等に対する公営住宅としての丁寧な対応を求めました。

委員会 経済農水



牧山 大和

物価高対策を急げ！
食料、エネルギー、飼料、原材料等、
経済の潤滑油の正常化を目指して！

農水経済委員会のまきやま大和です。

議員となり初めての委員会参加にもかかわらず、副委員長という責任ある役を任せさせていただき、貴重な経験ができることに諸先輩方に感謝しつつも、本当にみなさんのための有効な政策になっているか？、些細なことも見逃さず忌憚のない意見をぶつけることができる場づくりができるか？、委員長の議事進行の手助けが十分にできているか？、事前の準備の大切さを実感しています。

今回は、主に物価高対策として子ども食堂やフードバンクへの支援や、農林水産業・商工業への支援が多くありました。

今後も関係各所の現場の意見を真ん中に捉えて政策の実現に邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

委員会 総務



饗庭 敦子

長時間労働是正！パワハラを撲滅せよ！

長時間労働の是正で、県警に目標と実績を数字化するよう求めた私の質問に対し、事件・事故の発生など予測しがたい事案があり、数値目標を設定することは難しいとの答弁。数値目標の設定をすることを要望した。

パワハラの相談件数は2021年71件、2022年69件であり、処分は21年が3件、22年が5件。

「2020年10月、佐世保署の男性警察官が自殺したのは、長時間労働と上司によるパワハラが原因として、遺族が県に対して訴訟中。6月5日の第1回口頭弁論で、男性は3月に交通課に着任し、自殺するまでの約半年間に課長から繰り返し叱責され、署長の指示で勤務時間の過少申告が常態化していて、月200時間以上時間外があったが申告は40時間ぐらいとの事だが、過少申告は改善されたか」の質問に「22年度から、パソコンのシステムを導入し出退勤が管理できるようになり、過少申告はないものと理解している」との答弁。

長時間労働を是正し、働きやすい職場環境づくりを行い、ハラスメントの撲滅に向けて取り組んでいただきたい。

委員会 厚生文教



堤 典子

子どもをまん中においた離島留学制度の改善を！

文教厚生委員会では、予算議案1件、条例議案1件、報告議案4件、請願1件、意見書1件を審査し、それぞれ原案のとおり可決しました。

子どもの安全対策として、公立小中学校(88万円)や特別支援学校(297万5千円)の送迎バスへの安全装置の装備を補助する経費が計上されました。

壹岐高校の離島留学生が亡くなつたことや現行の留学制度の課題に関して検討委員会が設置されました。この検討委員会について、子どもをまん中においた改善策の検討、里親に対する研修の実施、離島留学生がSOSを出しやすい環境づくりなどを求めました。

県教委は「夏休み充電宣言」として、学校現場の①年次休暇取得の促進、②承認研修の充実、③魅力ある研修機会の提供を掲げています。教職員が夏休みに心身の休養や研修に努めることは、働き方改革や指導力の向上につながります。幅広い承認研修が認められるよう取り組むことを要望しました。